シンビディウムの育て方(1)

栽培管理

置き場所

5月頃，霜の心配がなくなれば戸外に出します。日が十分に当たる風通しの良い場所を選び，雨水のはねかえりのない棚上などに置きます。梅雨明け後から9月中旬までは寒冷紗などで30％程度遮光し，葉焼けを防ぎます。

11月中旬頃室内に取り入れます。冬の間はガラス越しの日によく当て，最低温度を5～10℃で管理します。なお，日中25℃以上，夜間15℃以上の高温にすると花芽が枯れるので注意しましょう。

水やり

生育期の春～秋までは，毎日たっぷり与えます。冬に適温（10～13℃）が保てない場合は，植え込み材料の表面が乾いてからさらに3～4日待って，暖かい日の午前中に鉢内が湿る程度に水やりをします。

肥料

4～7月上旬に月1回ずつ，油粕と骨紛を等量に混合し，親指の頭大に固めたもの（市販のものでも可）を5～6号鉢で2～3個与えます。あわせて液肥を10日に1回程度与えてもかまいません。

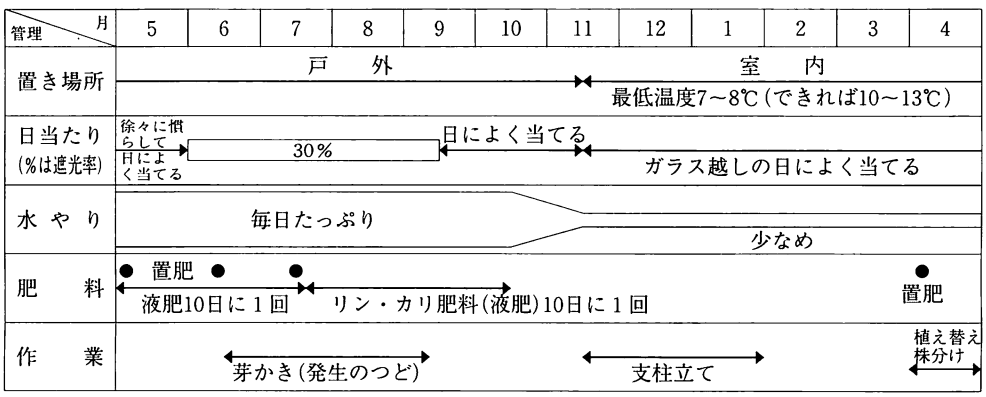
芽かき

秋～早春に発生した新芽を1バルブに1つ残します。晩春～晩夏に出た新芽は，十分に生長せず花芽をつけないので，早めにかき取ります。

病害虫の防除

ウイルス病に感染している株は，新芽の葉脈に沿って，かすり模様状に緑色の濃淡が見えるので，処分するか，隔離栽培します。カイガラムシは手や綿棒でこすり落とし，発生が多ければ，適用のある殺虫剤 を散布します。ハダニは乾燥期に発生しやすく，適用のある殺ダニ剤を散布します。

シンビディウムの年間管理表



広島市植物公園

シンビディウムの育て方(2)

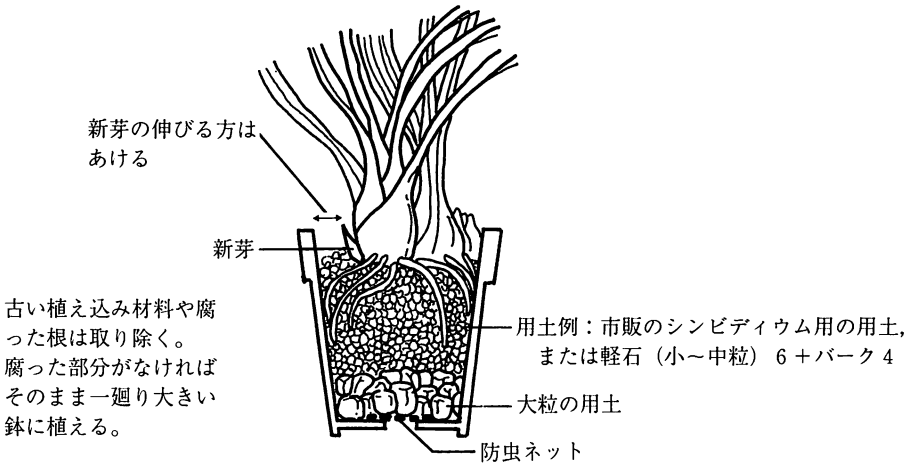
植え替え

植え込み材料

軽石，バーク，水苔などが適します。市販のシンビディウム用の用土を使用してもよいです。

植え替え時期と方法

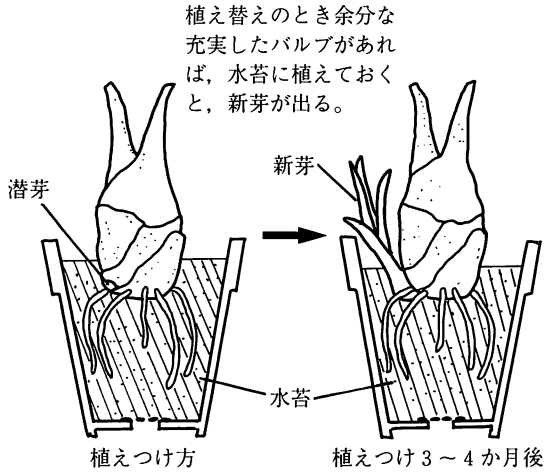
株が鉢にいっぱいに生育したものや，植え込み材料の古くなったものは植え替えます。開花が4月中旬以降になった場合は，開花後早々に切花にし，できるだけ早めに植え替えます。



植え替えの方法

繁殖

大株になって株分けの必要なものは，植え替え時に3～5バルブを1株として分けます。また，余分な充実したバルブは，切り離し，水苔で植えておくと，秋には新芽が出て苗が得られます（バックバルブ伏せ）。



バックバブル伏せの方法